

要請番号 (JL06025A15)



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ネパール	G159 数学教育	20~45歳のみ	個別	新規	2年	・2025/3・2026/1・2026/2

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

連邦・総務省

2) 配属機関名 (日本語)

スリ・バル・マンディル・セカンダリースクール

3) 任地 (ガンダキ州ゴルカ郡ゴルカ) JICA事務所の所在地 (カトマンズ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで約 6.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は、2015年の震災被災地の一つであるゴルカの町の中心部から1kmほど離れたところに位置する公立学校。設立は1976年。就学前クラスから10年生まで(日本の保育園年長から高校1年生相当)各学年1クラス、全体で323名の児童生徒が在籍している。合計教員数は16名である。当校の特徴として学校敷地内に孤児院を設立し、現在約20名の孤児(6-18才)が生活支援及び学習支援を受けている。これまで青少年活動の隊員派遣の実績があり、同隊員は放課後等を利用して、レクリエーション、英語教室、日本文化紹介といった活動を行った。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

配属先では数学教育の担当教員が1名、理科教育の担当教員が1名いるが、他の教科も担当している。課題として数学の授業内容が理論的なものに偏りがちで、基礎的な計算力向上のための実習時間が十分に取られていない。今般、同僚教員と協力しながら、G6~10(日本の小学校6年から高校1年生相当)の生徒を対象に、数学の基礎的な学力向上のための授業を実施支援、助言できる海外協力隊の要請がなされた。隊員は、JICAが推進するグローバルアジェンダの取り組みである「算数学び隊」としてJICAが開発した算数ドリルや算数アプリ(教材)を活用しながら、生徒が楽しく算数を学べるよう学習のモチベーションを向上させ、現地教員の指導力も改善するといった活動が期待されている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 同僚教員と協力しながら、G6~10(日本の小学校6年から高校1年生相当)の生徒を対象とした数学の授業を実施する。
- 現地教員の指導能力向上のための支援、助言を行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

執務用の机、いす、黒板、PC(ラップトップ、DELL製、Windows10)、プリンター(キヤノン製)、コピー機(キヤノン製)、プロジェクター(エプソン製)

4) 配属先同僚及び活動対象者

上長:校長、男性、40代

カウンターパート:数学教員、男性、30代

活動対象者:指導対象はG6~10の生徒、100名程度。他に同僚教員への支援など。

5) 活動使用言語

ネパール語

6) 生活使用言語

ネパール語

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許]：(中学校又は高等学校教諭(数学))
(小学校教諭)

[学歴]：(大卒) 備考：配属先の希望による

[性別]：() 備考：

[経験]：(指導経験)2年以上 備考：指導的な活動のため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(温暖冬季少雨気候) 気温：(0~35°C位) [電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可) [水道]：(安定)

【特記事項】